

# 3

## 自立活動指導例

1. 計算に困難を抱えている生徒・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42
  - 視覚的な手掛かりや具体物の操作による理解・・・・・・・・・・ 43
  - 視覚的な手掛かりを利用した計算の順序の決まりの理解・・・・・・・・ 44
  - 計画的に学習に取り組む方法の習得・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45
  
2. 図形の問題やグラフの読み取りが苦手な生徒・・・・・・・・・・ 46
  - 具体物の操作を通じた図形の理解・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
  - グラフを読み取る方法の習得・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48
  - 能率よくテスト問題を解く方法の習得・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49
  
3. 感情のコントロールが苦手で、トラブルをよく起こす生徒・・・・・・・・ 50
  - 場面の振り返りと自己理解・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 51
  - 感情をコントロールする方法の習得・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 52
  - 考え方や感じ方の多様性の理解・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 53
  
4. 自己表現することが苦手で、欠席が増えてきている生徒・・・・・・・・ 54
  - 安心感を高めて活動に参加する方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 55
  - 自分の思いを伝える方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 56
  - 他者と上手に関わるための方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 57
  
5. 場の空気が読めず、対人関係に困難がある生徒・・・・・・・・・・ 58
  - 日常生活の暗黙のルールやマナーの理解・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59
  - その場に合った行動や発言・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 60
  - 楽しく会話するためのルールの理解・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 61

自立活動指導例

▶ 生徒の実態

中学1年男子生徒カズさんは、数学を苦手としている。特に計算が苦手で、四則演算や括弧のある計算問題では、①誤った順番で計算してしまう。掛け算九九では、 $4 \times 6 = 22$ (しろくにじゅうに)や $9 \times 3 = 21$ (くさんにじゅういち)など、②2(に)と4(し)、1(いち)と7(しち)、4(し)と7(しち)のように、母音が共通しているものについての言い間違いが多い。計算の手順や九九が定着していないため、③学習の成果が現れず自信を失っている。中学校入学後、初めての数学の小テストで0点を取って以来、ノートの隅に絵を描いたり、机に伏したりするなど、授業に参加しようとしなくなり、徐々に保健室で過ごすことが多くなってきた。④テスト勉強も分からない問題にぶつかると途中で投げ出してしまい、⑤「どうせ自分は勉強ができない」などと口にしてしている。技術・家庭などの実技教科には積極的に参加しており、⑥木工では、手順書を見ずに完成品を忠実に再現した本棚を作り上げた。

▶ 指導課題の整理

- ・ ①計算の手続きを理解できていない実態や②掛け算九九の言い間違いが多い実態から、①物事の順序を捉えたり、②音声で理解したりすることが苦手であると考えられる。反対に、⑥技術・家庭の実態から、⑥目で見て物事の全体像を捉えることが比較的得意であると考えられる。
- ・ 学習面においても、言葉だけではなく視覚的に物事をイメージ化して全体像を捉えることを通して、理解を深めていけるようにしていく。
- ・ 特に②掛け算九九の習得については、他教科や生活場面での活用を見据えて、重要な課題であると捉えた。
- ・ 計画能力を高め、④計画的にテスト勉強に取り組む方法を身に付けることも重要であると考えられる。
- ・ ③⑤学習に対する自己肯定感が低下しているため、長所やできているところを認めながら、自己肯定感を高めることができるような指導を行う。

▶ 年間指導目標と具体的な指導内容

- ・ 視覚的手掛かりを基にした、計算の学習方法を身に付ける。(心・環)
- ・ 計画的にテスト勉強に取り組む方法を身に付ける。(健・心)

○選定された項目

	1 健康の保持	2 心理的な安定	3 人間関係の形成	4 環境の把握	5 身体の動き	6 コミュニケーション
(1)	生活のリズムや生活習慣の形成に関する事	情緒の安定に関する事	他者とのかかわりの基礎に関する事	保有する感覚の活用に関する事	姿勢と運動・動作の基本的技能に関する事	コミュニケーションの基礎的能力に関する事
(2)	病気の状態の理解と生活管理に関する事	状況の理解と変化への対応に関する事	他者の意図や感情の理解に関する事	感覚や認知の特性についての理解と対応に関する事	姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関する事	言語の受容と表出に関する事
(3)	身体各部の状態の理解と養護に関する事	障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関する事	自己の理解と行動の調整に関する事	感覚の補助及び代行手段の活用に関する事	日常生活に必要な基本動作に関する事	言語の形成と活用に関する事
(4)	障害の特性の理解と生活環境の調整に関する事		集団への参加の基礎に関する事	感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関する事	身体の移動能力に関する事	コミュニケーションの手段の選択と活用に関する事
(5)	健康状態の維持・改善に関する事			認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関する事	作業に必要な動作と円滑な遂行に関する事	状況に応じたコミュニケーションに関する事

具体的な指導内容 (週1回)	掛け算九九の表から、その性質を捉えたり、具体物を操作したりすることで、掛け算九九を習得する。 → 指導例 1.1 (P.43)	視覚的な手掛かりとして記号を用いたり、絵や図を用いたりする学習方法を身に付ける。 → 指導例 1.2 (P.44)	全体を見通して学習計画を立てる方法を身に付け、計画的にテスト勉強に取り組むことができるようにする。 → 指導例 1.3 (P.45)
-------------------	--	--	---

通常の学級における配慮事項	・ 数学や理科など、計算を扱う教科の教科担任と連携し、支援を行う。 ・ 指示を行う際には、口頭によるものだけでなく視覚的支援を行うようにする。
---------------	--

# 1.1 視覚的な手掛かりや具体物の操作による理解

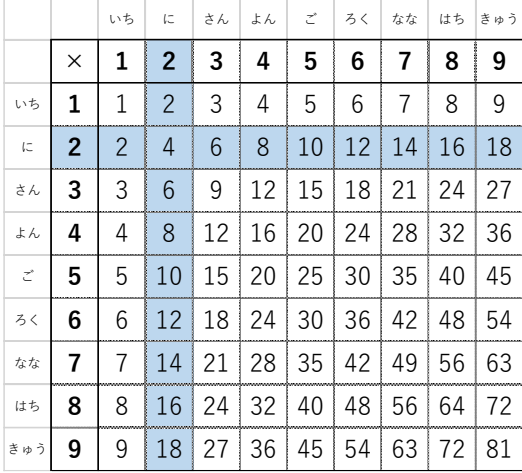
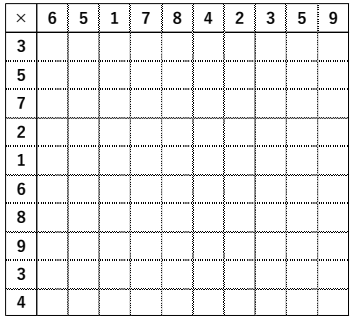
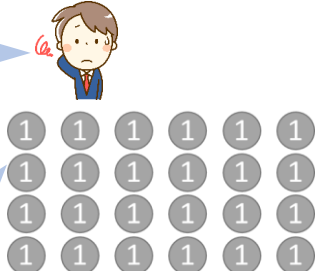
## ▶ 指導に当たって

- ・活動1では、掛け算九九の表を見て、視覚的にその特徴を見付けていく活動を通して、九九の理解を促す。九九の表には、1(いち), 4(よん), 7(なな)のように聞き間違えにくい振り仮名を振ることとする。
- ・活動2では、百ます計算に取り組む。タイムトライアル形式で行い、タイムと正解数を毎時記録していくことで、達成感を味わったり、自己の成長を確認したりできるようにする。
- ・活動3では、活動2で間違った計算について、具体物を操作して確認し、視覚的な理解を促す。

## ▶ 本時のねらい

- ・掛け算九九の表からその性質を捉えたり、具体物を操作したりすることで掛け算九九を習得する。(心・環)

## ▶ 指導過程 (展開)

段階	学習内容	指導上の留意点
展開 15分	<b>活動1</b> ・掛け算九九の表を見て、性質を見出す。 前回までは、 ① 1の段は1ずつ大きくなっていく ② 2の段は2ずつ大きくなっていく そして前回は①②から、 ③ □の段は□ずつ大きくなっていく ことに気が付きましたね。 縦に見ていくのと横に見ていくのとで、 同じ数が並んでいます。 今日もいい発見ができましたね！ 振り返りシートに書いておきましょう！	・前回までの発見の振り返りを行う。 ・新たな性質を1つ見つけられるように、ヒントを与える。 
10分	<b>活動2</b> ・百ます計算に取り組む。 今日も新記録を目指して頑張りましょう！ さっき九九の表をじっくり見たし、 今日は前回よりもできる気がする！	・タイムトライアル形式で行う。 ・タイムと正解数を記録し、 ゲーム感覚で挑戦する。 
15分	<b>活動3</b> ・百ます計算の間違った問題について、具体物を操作して答えを確認する。 前回よりも間違いは減ったけど……8問も間違えちゃった。 では間違った問題の確認をしましょう。まずは「4×6」！ 実際に並べて……1, 2, 3, …, 24! あ, 22じゃなかったか! 次は間違えないようにしましょう。	・1円玉やおはじきを実際に並べて数えることで、答えを確認する。 

## 1.2 視覚的な手掛かりを利用した計算の順序の決まりの理解

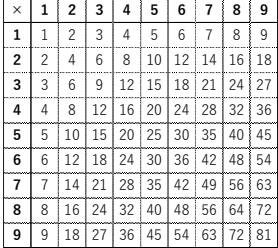
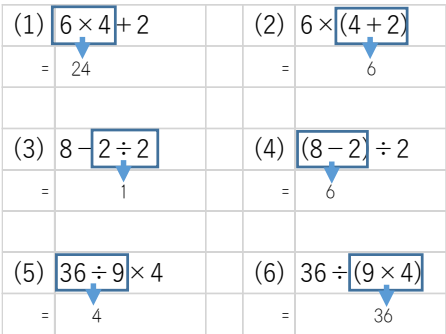
### ▶ 指導に当たって

- ・活動1では、掛け算九九の表を見て、視覚的にその特徴を見付けていく活動を通して、九九の理解を促す。(前頁1.1と同様の活動)
- ・活動2では、□などの記号を用いて式全体から計算すべき場所を焦点化し、四則演算の優先順位に従って計算する方法を身に付ける。

### ▶ 本時のねらい

- ・視覚的な手掛かりとして印を用いることによって、正しい計算手順を身に付ける。(心・環)

### ▶ 指導過程 (展開)

段階	学習内容	指導上の留意点
展開 15分	<b>活動1</b> ・九九の表を見て、性質を見いだす。	・前回までの発見の振り返りを行う。 ・新たな性質を1つ見付けられるように、ヒントを与える。
	5の段は1の位が必ず0から5になっています。 そうですね！今日も決まりを見つけることができましたね！ 次の発見が楽しみです。	
25分	<b>活動2</b> ・四則混合計算の問題に取り組む。	・計算の優先順位について確認する。
	今日計算問題に挑戦しましょう。 足し算や掛け算が混ざってる!( )もあるな… +, -, ×, ÷, ( ) の優先順位は覚えていますか？ ( )が最初、次は…掛け算だったはず！ そうですね、計算の優先順位は、 ① ( ) ② ×と÷ ③ +と- ですね。 まず、初めに計算する場所に印を付けてみるのはいかがでしょうか。 じゃあ、□で囲んで…… とりあえずこうかな？ 今日掛け算九九もしっかりできていますね！計算結果は、計算した場所のすぐ下に書くといいですよ。こんな感じで。 そうか、すぐ下には書けばいいのか!! じゃあ(1)の続きは、 24+2だから、えーっと……26! 計算すべき場所に注目できるように、 目印を付けながら計算していくといいですね！	(1) $6 \times 4 + 2$ (2) $6 \times (4 + 2)$ (3) $8 - 2 \div 2$ (4) $(8 - 2) \div 2$ (5) $36 \div 9 \times 4$ (6) $36 \div (9 \times 4)$ 
		・必要に応じて矢印などで計算のポイントを 示す。 こんな風に、注目する ポイントに印を付けてい けば、僕でもできるのかも しれないぞ！

# 1.3 計画的に学習に取り組む方法の習得






## ▶ 指導に当たって

- ・活動1では、生徒に寄り添い信頼関係を構築しながら、生徒の困っていることを引き出したり、課題の改善に向けた意欲を高めたりしていく。また、これまでの学習方法を客観的に振り返ることで、自己の課題を把握できるように促す。
- ・活動2では、計画能力に弱さがあると捉え、具体的な計画の方法について指導していく。今回は、先にテスト範囲全体を捉えてから、分からない問題を焦点化し、優先順位を考える方法を提案する。

## ▶ 本時のねらい

- ・全体を見通して学習計画を立てる方法を身に付ける。(健・心)

## ▶ 指導過程（展開）

段階	学習内容	指導上の留意点
展開 10分	<b>活動1</b> ・定期考査に向けた教育相談を行う。 ・普段のテスト勉強の仕方を振り返る。	・生徒が困っていることに耳を傾ける。 ・自分のこれまでの学習方法を客観的に振り返ることで、自己の課題を把握する。
	 <p>そろそろ定期テストが近づいてきましたね。</p> <p>僕、テスト範囲の勉強が全部終わったことがないんです。中学校に入ったらテスト範囲も広いし…。</p> <p>それでは一緒にテスト範囲を確認していきましょうか。</p>	
30分	<b>活動2</b> ・効率よく勉強に取り組む方法を考え、学習計画の作成を行う。	・生徒が主体的に方法を考えられるように促す。 ・必要に応じて、助言を行う。
	 <p>こんなに広いテスト範囲、終わらないよー!</p> <p>それなら、まずは章末問題をやってみて、分からない問題の練習問題を優先的にやってみるのも一つの作戦ですよ。</p> <p>まずは、分かる問題と分からない問題に目印を付けていくといいですね。どんな方法がいいですか？例えば…</p> <p>① 蛍光ペンで色分けしていく            ② 「○」や「×」の印を付けていく            …方法を決めたら、実際に教科書を見ながらやってみましょう!</p>	 <p>最初からやるのが普通だと思っていました!</p> <p>そういえば、分からない問題が出てきたら嫌になって途中で全部投げ出しちゃうんだよな…だから大事な部分の勉強ができなかったんだな。</p>  <p>分かる問題には「○」、分からない問題に「×」、でも、自信のない問題もあるな……「△」にしてみよう!            先に全体を見てから、大事な部分を優先して勉強すればいいですね!            これならテスト勉強が終わりそう!</p> <p>そうですね! 「できる問題から終わらせ、分からない問題は後でじっくり取り組む」など、優先順位を考えて計画表に記入していきましょう!</p>

▶ 生徒の実態

中学2年女子生徒ケイさんは、①教師の話をよく聞き、一生懸命勉強に取り組んでいる。しかし、各教科において、おおむね理解できている学習内容でも定期考査になると成績が振るわず悩んでいる。教科担任によると、②テストを最後まで解き終わっていないことが多いことが分かった。③2年生2学期の期末考査は、特に数学の成績が落ち込んだ。考査の範囲は平行と合同であった。また、④理科や社会などのグラフを読み取る問題は白紙解答であった。本人からの学習面での困難の訴えを受けた担任が、保護者と教育相談を行ったところ、小学校の頃から⑤学年相応の計算問題を解くことはできるが、⑥図形やグラフの問題を極端に苦手としていることが分かった。⑦社会や国語などの科目は、家で音読をすることで暗記しているとのことであった。また、⑧道が覚えられずに道に迷うことや、家では⑨レシピに示された手順を見ながら上手に料理を作ることにも分かった。ケイさんは、将来は大学に進学したいと考えており、来年の高校進学に向けて、学習面の困難を克服したいと考えている。

▶ 指導課題の整理

- ・③④⑥図形やグラフの問題を苦手としていることや、⑧道に迷う実態から、視知覚の弱さがあると考えられる。一方で、⑤計算問題や⑨料理など、手順がパターン化されていることについては問題なくできている。更に、①授業への取組の様子や⑦家庭学習の様子から、話を聞いて理解することは比較的得意であると考えられる。
- ・自分の苦手なことや長所について理解を促し、③④⑥図形やグラフの問題や②テストへの取り組み方について、方法を手順化していくことが有効であることに気付かせ、通常の学級での学習に生かすことができるようにしていくことが重要であるとする。

▶ 年間指導目標と具体的な指導内容

- ・具体物の操作と手続きの言語化を通して、グラフや図形についての理解を深める。(環)
- ・考査での時間配分の方略を身に付ける。(心・環)

○選定された項目

	1 健康の保持	2 心理的な安定	3 人間関係の形成	4 環境の把握	5 身体の動き	6 コミュニケーション
(1)	生活のリズムや生活習慣の形成に関する事	情緒の安定に関する事	他者とのかかわりの基礎に関する事	保有する感覚の活用に関する事	姿勢と運動・動作の基本的技能に関する事	コミュニケーションの基礎的能力に関する事
(2)	病気の状態の理解と生活管理に関する事	状況の理解と変化への対応に関する事	他者の意図や感情の理解に関する事	感覚や認知の特性についての理解と対応に関する事	姿勢保持と運動・動作の補助手段の活用に関する事	言語の受容と表出に関する事
(3)	身体各部の状態の理解と養護に関する事	障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関する事	自己の理解と行動の調整に関する事	感覚の補助及び代行手段の活用に関する事	日常生活に必要な基本動作に関する事	言語の形成と活用に関する事
(4)	障害の特性の理解と生活環境の調整に関する事		集団への参加の基礎に関する事	感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関する事	身体の移動能力に関する事	コミュニケーションの手段の選択と活用に関する事
(5)	健康状態の維持・改善に関する事			認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関する事	作業に必要な動作と円滑な遂行に関する事	状況に応じたコミュニケーションに関する事

具体的な指導内容 (月1回)	具体物の操作を通して、図形の特徴を捉えるとともに、図形の特徴や合同な図形の定義などについて、手続きを言語化することで理解を深める。 → 指導例 2. 1 (P. 47)	グラフを読み取るための段階的な手順を整理し、グラフを読み取る方法を身に付ける。 → 指導例 2. 2 (P. 48)	定期考査を解く際に、分からない問題や時間の掛かりそうな問題を後回しにし、解けそうな問題から能率よく解いていく方法を身に付ける。 → 指導例 2. 3 (P. 49)
-------------------	---	---	---

通常の学級における配慮事項	・数学や理科、社会など、グラフや表を扱う教科の教科担任と連携し、支援を行う。 ・指示を行う際には、手順を言語化してスモールステップで示すなどの工夫をする。
---------------	--

## 2.1 具体物の操作を通した図形の理解

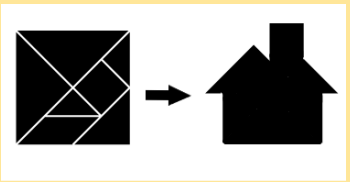
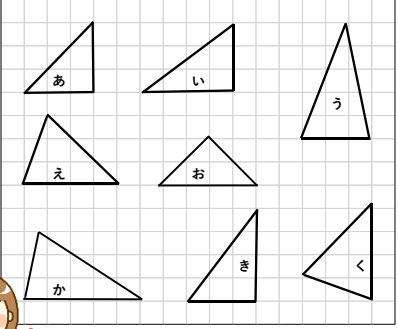
### ▶ 指導に当たって

- ・活動1では、具体物の操作を通して、図形に慣れ親しむことをねらいとして、パズルに取り組む。
- ・活動2では、数学の内容を取り扱い、合同な図形の組合せを見付ける問題に取り組む。頭の中で図形を想像して考えるのではなく、活動1と同様に、具体物の操作を通して考えることができるようにする。ただ重なる図形の組合せを見付けるだけでなく、「図形が合同であるとはどのようなことなのか」や「合同であることを確かめる手続き」を自分の言葉で言語化・パターン化することを通して理解できるように指導していく。

### ▶ 本時のねらい

- ・具体物を操作することで、図形の特徴を捉えられるようになる。(環)

### ▶ 指導過程 (展開)

段階	学習内容	指導上の留意点
展開 10分	<b>活動1</b> ・図形パズルに取り組む。  <b>【タングラム】</b> ・合計7つのパーツを組み合わせ、大きな形を作り上げるパズル。 ・見本のシルエットと同じ形をつくる。 ・木やプラスチックでできたものだけでなく、紙で自作してもよい。	・実際にパズルを操作させる。 <div style="text-align: right;">  </div>
30分	<b>活動2</b> ・実際に具体物を操作しながら合同な図形の組み合わせを探す。 <div style="margin-top: 10px;"> <p>この中から合同な図形の組合せを探しましょう。</p> <p>合同は授業でもさっぱり分からなかったんです。</p> <p>では実際に切り取って比べてみましょう！</p> <p>えっ！切っちゃっていいんですか？ これならできるかな。</p> <p>...</p> <p>これとこれがぴったり重なる！ これも裏返すと重なる！</p> <p>ぴったり重なるということは、どういうことですか？</p> <p>辺の長さが同じです。あとは…角の大きさも同じです。</p> <p>では、2つの図形が合同であることを、紙を切らずに確かめるためには、どのようにすればいいですか？</p> <p>授業中もノートに、手順を言葉でまとめていくといいですね！</p> </div>	・教科書等の問題を厚紙にコピーしておき、図形を切り抜く作業を一緒に行う。 <div style="margin-top: 10px;">  </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>「図形が合同である」ことについて、自分の言葉で言語化することを促す。</p> <p>「図形が合同であることを確かめる手続き」を、自分の言葉で言語化することを促す。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 辺の長さを調べる</li> <li>② 角の大きさを調べる</li> <li>③ 同じ長さの辺を探し、印を付ける</li> <li>④ 同じ大きさの角を探し、印を付ける</li> </ol> <p>…そうか、確認方法を自分でまとめておけば、私でもできるかも！</p> </div>

## 2.2 グラフを読み取る方法の習得

### ▶ 指導に当たって

- ・グラフを読み取ることに困難を抱えている実態を受け、特性に応じたグラフを読み取る方法を身に付けることを目指す。
- ・活動1では、グラフの縦軸や横軸に注目しながら、グラフが表している事柄を読み取る手順を整理する。グラフを読み取る際には、一つ一つの事柄について言語化していくようにする。
- ・活動2では、活動1の方法を用いて、実際にグラフを読み取る。
- ・グラフの内容は、教科担任と連携し、社会や理科などの授業で用いられているものなどを取り扱ったり、生徒が興味のある内容を扱ったりする。

### ▶ 本時のねらい

- ・グラフの縦軸や横軸の関係に着目し、グラフを読み取る方法を習得する。(環)

### ▶ 指導過程 (展開)

段階	学習内容	指導上の留意点																
展開 20分	<p><b>活動1</b></p> <p>・グラフを読み取る手順を整理する。</p> <p>あ、私の好きなアーティストです！ ……でもグラフはよく分かりません。</p> <p>グラフを読み取るときには、この手順で見えていくといいですよ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① グラフのタイトルを確認する</li> <li>② 縦軸が何を表しているかを読み取る</li> <li>③ 横軸が何を表しているかを読み取る</li> <li>④ グラフの左下の項目から、1つずつ量を読み取っていく</li> <li>⑤ グラフの特徴を捉える</li> <li>⑥ 分かったことをまとめる</li> </ol> <p>「グラフ読み取り手順シート」でやってみましょう！</p> <p>この手順に沿って見ていけばいいんですね！ こんな感じかな……</p> <p>⑥の「分かったこと」は、 ⑤を見ながら考えるといいですよ。</p>	<p>・グラフを1つ示し、グラフのタイトルや縦軸、横軸が何を表しているかを質問していく。</p> <p>・「グラフ読み取り手順シート」を活用して、手順の理解を促す。</p> <div style="text-align: center;"> <p>アーティストXの曲の売れ行き</p> <table border="1"> <caption>アーティストXの曲の売れ行き (ダウンロード数)</caption> <thead> <tr> <th>曲名</th> <th>ダウンロード数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>30,000</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>45,000</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>70,000</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>50,000</td> </tr> <tr> <td>F</td> <td>55,000</td> </tr> <tr> <td>G</td> <td>60,000</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>■ グラフ読み取り手順シート</p> <p>① グラフのタイトルを確認する アーティストXの曲の売れ行き</p> <p>② 縦軸が何を表しているかを読み取る ダウンロード数</p> <p>③ 横軸が何を表しているかを読み取る 曲名</p> <p>④ グラフの左下の項目から、一つずつ量を読み取っていく A曲が10000回、B曲が30000回、C曲が45000回 D曲が70000回、E曲が50000回、F曲が55000回 G曲が60000回</p> <p>⑤ グラフの特徴を捉える (1) 一番多いのは <u>D曲</u> の時で、その値は <u>70000</u> (2) 一番少ないのは <u>A曲</u> の時で、その値は <u>10000</u> (3) 値はだんだん (&lt;増えている&gt;) 減っている どちらでもない</p> <p>⑥ 分かったことをまとめる だんだん売れている。Dが一番人気がある曲。</p> </div>	曲名	ダウンロード数	A	10,000	B	30,000	C	45,000	D	70,000	E	50,000	F	55,000	G	60,000
曲名	ダウンロード数																	
A	10,000																	
B	30,000																	
C	45,000																	
D	70,000																	
E	50,000																	
F	55,000																	
G	60,000																	
展開 20分	<p><b>活動2</b></p> <p>・グラフを読み取る方法の練習を行う。</p> <p>では、次は実際に授業で使うグラフの読み取りに挑戦してみましょう。</p>	<p>・教科担任と連携して、社会や理科の授業で用いられるグラフを扱う。</p> <p>・段階的に「グラフ読み取り手順シート」を使わずに、グラフに関する質問に答える活動を取り入れていく。</p>																



## 2.3 能率よくテスト問題を解く方法の習得






### ▶ 指導に当たって

- ・日々の学習はおおむね理解できている内容でも、テストになると最後まで解き終わっていない実態や手順どおりに物事に取り組むことが得意な実態から、問題を前から順番に解くことにこだわってしまっていると考えた。
- ・活動1では、まずは生徒の声に耳を傾け、自己理解を促しながら、一緒にテストを解くための方法を考える意欲を高めていく。
- ・活動2では、手順どおりに物事に取り組むことが得意な特性を生かし、後回しにする作業を手順化する方法について、生徒と共に考えていくこととした。方法については、生徒が主体的に選択できるように留意する。
- ・活動3では、考えた方法を身に付けることや自信を付けることをねらい、小テストに取り組む。

### ▶ 本時のねらい

- ・自分の特性を理解し、テストで問題を多く解くための方法を考える。(心・環)

### ▶ 指導過程 (展開)

段階	学習内容	指導上の留意点
展開 10分	<b>活動1</b> ・定期考査に向けた教育相談を行う。	・生徒が困っていることに耳を傾ける。 ・生徒のできている部分を認めながら、課題の整理を行う。
	 <p>テストを時間内に終わらされたことがないんです。結局、残り時間が無くなって焦っちゃうんですね。後から見返すと、分かっている問題も沢山あるのに。</p> <p>いつも頑張って勉強していますよね。もっと力が出せるといいですね。</p> 	
10分	<b>活動2</b> ・過去のテストや最近の小テストなどを基に、テストで能率よく問題を解くための方法を考える。	・テスト範囲の練習問題などを活用し、小テストを作成しておく。
	 <p>分からない問題を後回しにしてみるのはいかがでしょうか？</p> <p>分かってはいるんですが、できなくて…空欄が気になっちゃうんです。</p> <p>では、うまく問題を後回しにして、たくさん解く作戦を考えてみましょう！ 例えば、後回しにするときには空欄にならないように何か印を書くとか…。</p> <p>後回しにした問題には「あとで」と大きく書いていこうかな。 方法は、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① できる問題を解く</li> <li>② できない問題には「あとで」と書く</li> <li>③ 余った時間で「あとで」に取り組む</li> </ol>	・分からない問題を後回しにする際には、空欄とならないように何かを記入することを作業として手順化するなど、特性を生かして課題を克服する方法を考える。
20分	<b>活動3</b> ・小テストに挑戦し、方法を身に付ける。	・テスト範囲の練習問題などを活用し、小テストを作成しておく。
	 <p>時間内でたくさん解けましたね！</p> <p>分からない問題は思い切って飛ばしてみてもいいんですね！ この方法ならたくさん問題が解けるかも！</p> 	

# 3 感情のコントロールが苦手で、トラブルをよく起こす生徒

## ▶ 生徒の実態

中学校2年生男子生徒ジョウさんは、①些細なことでカッとなって暴れたり暴言を吐いたりする。バレーボール部に所属しているが、後輩がグループで談笑しているのを②自分のことを馬鹿にしていると勘違いし、後輩に詰め寄ることがあった。また、教室でも③ちょっとしたことで感情的になり、暴れることもあった。④その都度言っても聞かせても、月日がたつと同じようなトラブルを繰り返す。同じ部の同級生は上手に付き合っているが、その他の生徒はだんだん距離を置くようになり、休み時間は一人で過ごすことが多くなっている。保健体育でダンスのグループを決めるときは欠席した。普段は落ち着きがなく、授業中は集中力が欠けることがよくある。体を動かすことは好きだが、言葉を理解する力や表現する力が弱く、学習面でも苦労している。

## ▶ 指導課題の整理

- ・①③衝動的に行動することがあるため、感情をコントロールする方法を身に付ける必要がある。
- ・②思い込みが激しく状況判断が難しい一面がトラブルの元になっているので、改善のための指導を行う必要がある。
- ・④トラブルの指導をした際、言っても聞かせても効果が薄かったことから、図や絵で指導すべき内容を示した方がよいと考える。

## ▶ 年間指導目標と具体的な指導内容

- ・こみ上げた怒りをコントロールする、具体的な方法を身に付ける。(健・心・人)
- ・勝手な思い込みで行動しないように、適切に状況を判断できるようになる。(心・人・コ)

## ○選定された項目

	1 健康の保持	2 心理的な安定	3 人間関係の形成	4 環境の把握	5 身体の動き	6 コミュニケーション
(1)	生活のリズムや生活習慣の形成に関する事	情緒の安定に関する事	他者とのかかわりの基礎に関する事	保有する感覚の活用に関する事	姿勢と運動・動作の基本的技能に関する事	コミュニケーションの基礎的能力に関する事
(2)	病気の状態の理解と生活管理に関する事	状況の理解と変化への対応に関する事	他者の意図や感情の理解に関する事	感覚や認知の特性についての理解と対応に関する事	姿勢保持と運動・動作の補助手段の活用に関する事	言語の受容と表出に関する事
(3)	身体各部の状態の理解と養護に関する事	障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関する事	自己の理解と行動の調整に関する事	感覚の補助及び代行手段の活用に関する事	日常生活に必要な基本動作に関する事	言語の形成と活用に関する事
(4)	障害の特性の理解と生活環境の調整に関する事		集団への参加の基礎に関する事	感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関する事	身体の移動能力に関する事	コミュニケーションの手段の選択と活用に関する事
(5)	健康状態の維持・改善に関する事			認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関する事	作業に必要な動作と円滑な遂行に関する事	状況に応じたコミュニケーションに関する事

<b>具体的な指導内容</b> (月2回)	・衝動的な行動を例に挙げ、過去に自分が同じようなことをしたことはないか、振り返る時間を持つ。 ・怒りを感じる場面を記録シートにまとめることで、自己理解を図る。 → 指導例3.1 (P.51)	・怒りをコントロールする方法を学び、対処方法を身に付ける。 → 指導例3.2 (P.52) ・トラブルになりやすい場面のイラストを見て、事実と思い込みを整理し、適切な行動が取れるようにする。 → 指導例3.3 (P.53)
--------------------------	---	--

<b>通常の学級における配慮事項</b>	・怒りを感じた場面では、退避場所にいつでも移動できるよう配慮する。 ・必要に応じて、生徒の怒りの気持ちに耳を傾けるようにする。 ・退避場所があることや担任が話を聞くことを生徒に伝えておき、安心感を与えられるようにする。
----------------------	---

### 3.1 場面の振り返りと自己理解

#### ▶ 指導に当たって

- ・活動1は、課題の指導に入る前に雑談から生徒のよいところを褒める場面。自己肯定感に配慮している。
- ・活動2, 活動3では、最近のトラブルの場면을振り返り、イライラ記録ノートを作る。自分自身を客観的に見て怒りを感じる場面を知り、この後の怒りを感じたときの対処方法の学びにつなげる。対処方法、事実と思ひ込みの整理については、別の指導例で提示する。

#### ▶ 本時のねらい

- ・これまでの衝動的な行動を振り返り、怒りを感じる場面をまとめたり、イラストにしたりすることで、客観的に自分自身を捉えられるようにする。(健・心・人)

#### ▶ 指導過程 (展開)

段階	学習内容	指導上の留意点
展開 10分	<b>活動1</b> ・最近の出来事を振り返るための対話をする。	・生徒のよいところを褒めるところからスタートし、徐々に課題となる話題に移るようにする。 ・生徒の話に傾聴し、共感的な態度で接する。
10分	<b>活動2</b> ・トラブルが起きた場면을振り返る。	・どのようなときにイライラしてしまうのか、自己理解を促す。
20分	<b>活動3</b> ・イライラ記録ノートを一緒に作成する。	・あらかじめイライラする場면을把握することで、対処の仕方を考えることができる。

先週のバレーボールの大会優勝したんだって？しかも、大活躍だったって聞きましたよ！

たまたまです。めずらしく調子が良くて…。

そんなことないですよ。努力なしで優勝なんてできません。毎日練習を頑張っていたからです。素晴らしいと思います。

そうかなあ？

応援するのでこれからも頑張してほしいです。ただ、感情的な行動をとってしまうとこれまでの努力が水の泡になることもあるので、感情のコントロールも頑張っていきましょうね。

昨日は、急に先生から当てられちゃった問題が分からなくて……嫌だな、恥ずかしいなって思っていたんだけど、教室がざわざわしてバカにされている気がしたんだよね。先週は朝に挨拶したら、無視されていらついちやったんだ。急に大声を出したから、相手はとても驚いていたけれど。

挨拶は、ちゃんと相手に聞こえていたのですか？

うーん。分からない…。

もしかしたら聞こえていなかったかもしれません。それは、別な日に考えましょう。今日は、最近のイライラした場면을まとめてみましょうか。

どんなときにイライラしてしまったか、振り返ってみましょう。ノートには先生が書きますね。

いいけど、何か意味があるの？

後でこのノートを見たときに、自分はどんなことで怒っていたのかを知り、自分と向き合うことができます。その場ではカッとなっても、後から冷静に考えると何でそんなことで怒ったんだろうってこと、結構あるものですよ。

イライラ記録ノート

① 日時	
② 場所	
③ できごと	
④ 思ったこと	
⑤ 行動や発言	
⑥ 相手にしてもらいたかったこと	

## 3.2 感情をコントロールする方法の習得





### ▶ 指導に当たって

- ・活動1では、「アンガーマネジメント」の考え方を知り、怒りのコントロールの仕方について学ぶ。怒りを感じたときの対処方法を準備しておくことで、行動をコントロールできるようにする。
- ・活動2では、衝動的な行動を未然に防ぐ方法を探っていき、生徒自身ができそうだと思うものの中から選択する。次時以降は実践した対処方法について振り返り、うまくいかなかった場合は改善を図っていく。

### ▶ 本時のねらい

- ・アンガーマネジメントについて学び、怒りを感じた場合の対処方法を考える。(心・人・コ)

### ▶ 指導過程 (展開)

段階	学習内容	指導上の留意点
展開 20分	<b>活動1</b> ・怒りをコントロールする方法を知る。	・生徒が主体的に考えられるように促しながら、アンガーマネジメントの手法などを助言したり、ロールプレイで練習したりする。
	 <p>どうしたら、キレずに済むかな。自分自身が嫌になってきたよ…。</p> <p>怒りは誰にでもある感情なので、自分自身を責める必要はないですし、無理に抑え込む必要もありません。必要なのは怒りをコントロールするスキルを身に付けることです。アンガーマネジメントという、怒りのコントロール法があるので、勉強してみましょう。</p> <p>【アンガーマネジメント (3つの暗号)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・怒りのピークは6秒間</li> <li>・「べき」の境界線を広げる, 伝える, 安定させる</li> <li>・コントロール可能なことかどうか考える</li> </ul>	
展開 20分	<b>活動2</b> ・イライラした場合の対処方法を考える。	・様々な対処方法を知り、自分に合った方法を選ばせる。
	 <p>では、イライラして感情が爆発しそうになったときに、どうすればいいか、一緒に具体策を考えてみましょう。</p> <p>いつもカッとなってしまって…。どうすればいいんだろう。</p> <p>例えば、気持ちを落ち着かせる方法として、①ゆっくり10回深呼吸する, ②一旦その場を離れてみる, ③自分を落ち着かせる魔法の言葉を覚えておき, それを唱える, ④好きな感触のものを触ったり, 好きなにおいを嗅いだりする, などがあります。</p> <p>③は思いつかないなあ。①や②ならできるかなあ。</p> <p>では、今月は①, ②を意識して生活してみましょう。待避する場所はトイレや保健室などがいいですね。あらかじめ場所を決めておきましょう。</p> <p>とりあえずトイレに行ってみて, 収まらなかったら保健室で先生に話を聞いてもらうようにするよ。</p>	

### 3.3 考え方や感じ方の多様性の理解

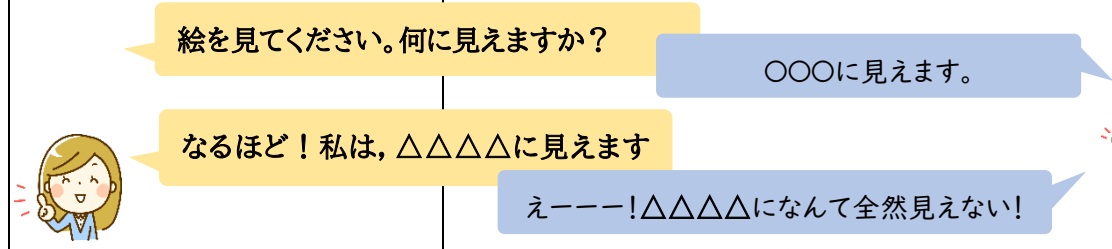
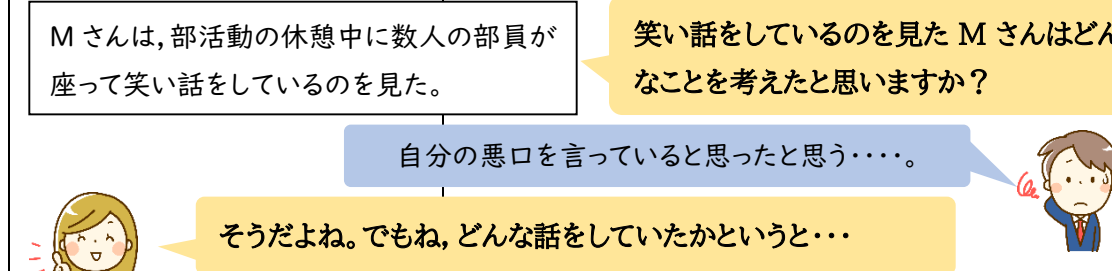
#### ▶ 指導に当たって

- ・活動1は、生徒が自分の考えに固執し、ネガティブに物事を捉えていると考え、人によって考え方や感じ方は色々あることに気付かせる活動である。また、思い込みは誰にでもあり、悪いことではないけれど、本当かどうかの視点を持つておくことが大切だと気付かせたい。
- ・活動2では、実際の場面を想定して考える活動である。生徒が実際に失敗したことをあたかも他人が失敗したことに仕立てることで、生徒の自尊心を傷つけないように配慮する。
- ・次時では、どのように知人に確かめたらよいかについて考える授業展開にする。

#### ▶ 本時のねらい

- ・自分の考えは絶対ではなく、人によって考え方や感じ方は様々であることを知る。(心・人・コ)

#### ▶ 指導過程 (展開)

段階	学習内容	指導上の留意点
展開 15分	<b>活動1</b> ・だまし絵を見て教師と話をする。	・人によって考え方や見え方に違いがあることに気付かせる。
	 <p>絵を見てください。何に見えますか？</p> <p>〇〇〇に見えます。</p> <p>なるほど！私は、△△△△に見えます</p> <p>えー！△△△△になんて全然見えない！</p>	・△△△△に見える理由を説明する。
	<p>同じ絵を見ていても人によって見え方が違うことってあるんですね。            「〇〇〇に見える」と思い込んでしまうと、△△△△になんて見えるはずがない！と思ってしまうけれど、よく見ると、△△△△にも見えましたね。思い込みは誰にでもあります。私もありますよ。例えば、高いものは安いものより優れている、と思ってしまうこととか。大切なのは、本当にそうなのかな、と疑問を持って確かめることです。</p>	
25分	<b>活動2</b> ・下のような内容の絵カードを見て、どんな状況か考える。	・生徒が失敗した例を基に場面を作成するが、登場人物は生徒本人ではなく、全く知らない生徒にして考えさせることで、客観的に物事を捉えられるようにする。
	 <p>Mさんは、部活動の休憩中に数人の部員が座って笑い話をしているのを見た。</p> <p>笑い話をしているのを見た Mさんはどんなことを考えたと思いますか？</p> <p>自分の悪口を言っていると思ったと思う……。</p> <p>そうだね。でもね、どんな話をしていたかというと……</p>	・他の例についても考える。
	<p>A: 昨日の夜のお笑い番組見た??            B: 〇〇の声、面白かったよね!            C: あの動きも笑えたし!</p>	<p>テレビで見たお笑いの話をしていたんだね。</p> <p>実際にこういう場面に出合ったらどうすればいいかな？</p> <p>本人に確認する？</p> <p>そうです。分からなかったら本人に確認するといいですよ。</p>

▶ 生徒の実態

中学1年生女子のトウコさんは、おとなしい性格で休み時間になるといつも一人で本を読んで過ごしている。授業中は、一生懸命板書を書き写す様子が見られる。学校では特定の友達に小さな声でささやくように話す以外は、声を出すことはない。①授業中に指名されると身体が緊張で硬直してしまう。②教師に用があるときは、友達に代弁してもらっている。母親の話では、家では聞かれたことに答えたり、思いを伝えたりすることができているが、③慣れない場所や初対面の人、大勢の人の前では、表情がこわばり言葉が出なくなるとのこと。中学生になり、④学校行事や各教科の発表がある日は登校を渋るようになったことをきっかけに、病院を受診したところ広汎性発達障害と診断された。特別支援教育コーディネーターの助言により、まず安心して自分を表現できる場を設ける必要があると判断し、生徒と保護者合意の基、通級による指導を行うことになったが、トウコさんの希望により授業中ではなく、放課後等に指導を行うことにした。

▶ 指導課題の整理

- ・①②自分の思いをうまく表出できていない実態から、気持ちを伝える方法はいろいろあることに気付かせ、その中から自分に合う方法を身に付けることが大切であると考え。
- ・③④慣れない環境や先の見えない状況に対して、過剰に反応してしまっている実態から、不安な気持ちを軽減する方法を知る必要があると考える。

▶ 年間指導目標と具体的な指導内容

- ・自分の思いを伝えるためのコミュニケーションの手段を身に付ける。(心・人・コ)
- ・自分が安心して活動に取り組むための方法を知る。(心・人・コ)

○選定された項目

	1 健康の保持	2 心理的な安定	3 人間関係の形成	4 環境の把握	5 身体の動き	6 コミュニケーション
(1)	生活のリズムや生活習慣の形成に関する事	情緒の安定に関する事	他者とのかかわりの基礎に関する事	保有する感覚の活用に関する事	姿勢と運動・動作の基本的技能に関する事	コミュニケーションの基礎的能力に関する事
(2)	病気の状態の理解と生活管理に関する事	状況の理解と変化への対応に関する事	他者の意図や感情の理解に関する事	感覚や認知の特性についての理解と対応に関する事	姿勢保持と運動・動作の補助手段の活用に関する事	言語の受容と表出に関する事
(3)	身体各部の状態の理解と養護に関する事	障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関する事	自己の理解と行動の調整に関する事	感覚の補助及び代行手段の活用に関する事	日常生活に必要な基本動作に関する事	言語の形成と活用に関する事
(4)	障害の特性の理解と生活環境の調整に関する事		集団への参加の基礎に関する事	感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関する事	身体の移動能力に関する事	コミュニケーションの手段の選択と活用に関する事
(5)	健康状態の維持・改善に関する事			認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関する事	作業に必要な動作と円滑な遂行に関する事	状況に応じたコミュニケーションに関する事

<p>具体的な指導内容 (週1回程度)</p>	<p>・安心感を高めるために、活動の見通しが持てる自分用のスケジュール表の作成の仕方を身に付ける。→ 指導例4.1(P.55)</p> <p>・自分の思いを伝えたり、他者と上手に関わったりするためのコミュニケーションの手段を身に付ける。→ 指導例4.2(P.56), 指導例4.3(P.57)</p>
-----------------------------	--

<p>通常の学級における配慮事項</p>	<p>・見通しを持って活動に取り組めるように、予定を教室に掲示したり、事前に個別に詳しい予定を伝えたりする。</p> <p>・発表をしなければいけない場面では、本人の了承を得た上で教師や友達が代読や代弁をする。</p>
----------------------	---

## 4.1 安心感を高めて活動に参加する方法







### ▶ 指導に当たって

- ・トウコさんは、行事前になると不安な気持ちを抱く傾向がある。事前に学級担任を通じてトウコさんの様子を把握するとともに、行事内容の心配事を予想したプリントを準備しておくことで、放課後等の短時間でも自立活動ができるようにする。また、うなずいたり首を振ったりする行為でも自己表現として捉え、相手に思いが伝わったと安心感を持たせるようにする。
- ・活動1, 活動2ともに、自己表現が苦手な実態を踏まえ、不安な行事や行事内容に○を付ける活動にすることで、主体的に学習に取り組めるようになる。と考える。
- ・活動3は、トウコさん用のスケジュール表を作成して、安心感を高めていく活動である。宿泊学習当日のスケジュールだけではなく、事前のオリエンテーションや事後の振り返り等についても見通しを持って参加できるように、内容等について事前に伝えておく必要がある。

### ▶ 本時のねらい

- ・安心して宿泊学習に参加できるように、活動の見通しを持つ。(心・人・コ)

### ▶ 指導過程 (展開)

段階	学習内容	指導上の留意点
展開 5分	<b>活動1</b> ・月予定表を見て、不安のある行事に○を付ける。  月予定表を見て、トウコさんが不安に思っている行事があれば○を付けてみましょう。	・学年便りの月予定表を提示し、今後1か月にどんなことがあるかの見通しを持たせる。 宿泊学習… 
5分	<b>活動2</b> ・「宿泊学習」での知っておきたい項目に○を付ける。  宿泊学習について、不安なことや心配なことはありますか？○を付けて教えてください。	・宿泊学習での心配事を知るために、プリントに○を付けるように指示する。 どんなことをするんだろう… 
30分	<b>活動3</b> ・自分用の「宿泊学習スケジュール」を作成する。  今日はスケジュールの不安をなくせるように、ワークシートに詳しい1日の流れを書き込んでいきましょう。	・事前に担任から宿泊学習の日程表を提供してもらい、トウコさん用のスケジュール表を作成できるようにする。 ・ワークシートには、分かったことについて書き込み、見通しを持って宿泊学習に参加できるようにする。 ・昨年度の写真や宿泊先のパンフレットを使用したり、昨年度の感想を紹介したりして、具体的にスケジュールを把握できるようにする。 学校集合は8:00で… 

7	木	
8	金	学年オリエンテーション (宿泊学習)
9	土	
10	日	
11	月	学級オリエンテーション (宿泊学習)
12	火	朝会
13	水	委員会活動
14	木	宿泊学習
15	金	宿泊学習
16	土	
17	日	
18	月	学年での振り返り (宿泊学習)
19	火	朝読書
20	水	

1	スケジュール
2	持ち物
3	バスの席
4	係の仕事
5	班のメンバー
6	部屋のメンバー
7	班での活動
8	野外炊飯について
9	夜眠れるか
10	その他

時間	内容
8:00	学校集合
8:10	出発式
8:20	学校出発
10:00	自然の家到着
10:10	出会いの集い
10:30	ウォークラリー

## 4.2 自分の思いを伝える方法



### ▶ 指導に当たって

- ・活動1では、教師との対話を通して、自分の思いを伝える経験をさせていく。部活動(美術部)の顧問から、制作に取り組むことになったが全く下描きが進まないとの情報を受け、部活動の話きっかけにトウコさんの思いに耳を傾けていく。必要に応じて教師から選択肢を示しながら、指差しなどの方法でもよいので思いを表現できるようにしていく。話すことを強いるのではなく、思いを伝えることに安心感が持てるように関わりながら、トウコさんの思いを聞き出していく。
- ・活動2では、トウコさんの思いを「コミュニケーションカード」に書かせる。「コミュニケーションカード」は単語帳のようなものを使用し、生活場面で必要に応じて活用できるように書き溜めていく。

### ▶ 本時のねらい

- ・「コミュニケーションカード」に自分の思いを書き、思いを伝える手段として活用できるようにする。(心・人・コ)

### ▶ 指導過程(展開)

段階	学習内容	指導上の留意点							
25分	<p><b>活動1</b></p> <p>・部活動について教師と話す。</p> <p> 部活動で何か困っていることはありますか？</p> <p>何で困っているのかな？この中にある？</p> <table border="1" data-bbox="502 907 726 1120"> <tr><td>1. 友達のこと</td></tr> <tr><td>2. 先生のこと</td></tr> <tr><td>3. 絵が描けない</td></tr> <tr><td>4. 道具がない</td></tr> </table> <p>絵が描けなくて困っているのですね。絵を描くために困っていることは何ですか？</p> <table border="1" data-bbox="414 1243 766 1433"> <tr><td>1. イメージできない。</td></tr> <tr><td>2. 見本がほしい。</td></tr> <tr><td>3. アドバイスしてほしい。</td></tr> </table>	1. 友達のこと	2. 先生のこと	3. 絵が描けない	4. 道具がない	1. イメージできない。	2. 見本がほしい。	3. アドバイスしてほしい。	<p>・部活動の顧問から情報があつたことは話さずに、生徒とのやり取りの中で困っていることを引き出せるようにする。</p> <p>(うなづく)</p> <p>(「3」を指さす)</p> <p>・必要に応じて、選択肢を示していく。</p> <p>・生徒との対話の中で、生徒が伝えたい内容を把握していく。</p> <p>(「1」と「2」を指さす)</p>
1. 友達のこと									
2. 先生のこと									
3. 絵が描けない									
4. 道具がない									
1. イメージできない。									
2. 見本がほしい。									
3. アドバイスしてほしい。									
15分	<p><b>活動2</b></p> <p>・「コミュニケーションカード」を書いて、自分の思いを表現する。</p> <p> そうですか、見本が無くて困っていたのですね。ではそのことを「コミュニケーションカード」に書いて、部活動の先生に伝えてみましょう。</p> <p>相談したいことがあります。</p> <p>見本の作品を見せてください。</p>	<p>・思いを伝える手段の一つとして、「コミュニケーションカード」に思いを書かせる。</p> <p>・「コミュニケーションカード」は単語カードのようなものを使用し、必要に応じて活用できるように、カードリングでまとめていく。</p> <p>顧問があります。</p> <p>先生に行きたいです。</p> <p>【コミュニケーションカード】</p>							



## 4.3 他者と上手に関わるための方法




### ▶ 指導に当たって

- ・初対面の人や大勢の前では話せない実態から、トウコさんにとって今後必要となるであろうコミュニケーションの手段を身に付けるための活動を行う。
- ・**活動1**では、トウコさんが今実践できているコミュニケーションスキルについて確認したり、今後身に付けたいコミュニケーションスキルを選択させたりする。
- ・**活動2**では、**活動1**で選択したコミュニケーションスキルを身に付けるための練習を行う。単なる訓練にならないよう、カードゲームなどに取り組みながら、ねらいとしているコミュニケーションスキルを習得させる。トウコさんにとって、通級指導教室が安心して自己表現できる場となるよう、楽しい雰囲気を取り組めるようにする。

### ▶ 指導のねらい

- ・他者と上手に関わるためのコミュニケーションスキルを身に付ける。(心・人・コ)

### ▶ 指導過程 (展開)

段階	学習内容	指導上の留意点
展開 20分	<p><b>活動1</b></p> <p>・自身のコミュニケーションを振り返り、今後身に付けたいコミュニケーションスキルを選択する。</p> <p> コミュニケーションスキルには様々なものがあります。すでにトウコさんが実践できているものもありますね。</p> <p>「うなづく」はできます。</p> <p>そうですね！私が質問したときに、うなずいたり首を振って答えたりしてくれるので、分かりやすいです。では、この中で、これから新しく実践できそうなことは何ですか？</p> <p>目を見て話を聞くのは苦手だけど…… (「相手の目を見て話を聞く」を指さす)</p>	<p>【様々なコミュニケーションスキル】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うなづく</li> <li>・相手の目を見て話を聞く</li> <li>・敬語を使う</li> <li>・相手に合わせた話題を出す</li> <li>・分かりやすく伝える</li> <li>・嫌な思いをさせない断り方</li> <li>・相手の気持ちを考える</li> </ul> <p>・コミュニケーションスキルの一覧表などを示し、できていることや今後身に付けたいコミュニケーションスキルを選択させる。</p> <p>・すでにできていることについては、認める声掛けをする。</p> <p>・本人が選んだ「今後身に付けたいコミュニケーションスキル」を、<b>活動2</b>を行う際のテーマとする。</p>
20分	<p><b>活動2</b></p> <p>・カードゲームをしながら、ねらいとしたコミュニケーションスキルを実践する。</p> <p> 目を見るのが難しいときには、相手の額や襟元を見るとよいですよ！相手からは目を見ているように見えます。</p> <p>いいですね、しっかりできていますよ！</p> <p>これならできそうです！ </p>	<p>・<b>活動1</b>で選択したコミュニケーションスキルを実践してみることをテーマにカードゲームに取り組む。</p> <p>・実践が難しそうな場合は、コツを伝える。</p> <p>・うまく実践できていた際に、認める声掛けをしていく。</p> <p>・ねらいとしているコミュニケーションスキルを身に付けることができるような特別ルールなどを付け加えてもよい。</p>

▶ 生徒の実態

中学2年男子生徒クウさんは応援団に所属し、人前で大きな声を出すことをいとわなかったり卓球部で練習に励んだりなど、何事にも全力で取り組む生徒である。しかし、①思ったことをそのまま口にしてしまうため、周りの生徒とのトラブルが多い。学級では、体型を気にしている②女子に対してデリカシーのない発言をして泣かせることがあった。また、③友達の失敗を笑ってけんかになることもあったが、いずれの場合も④自分の非を認めるのに時間がかかった。周囲の生徒に⑤一方的に話をするが相手の話は聞かない面もあり、周囲の生徒が距離を置くようになっている。学習面での困難はあまり見られないが、教師の発問に対し、⑥他の生徒が発表するために挙手しているのをよそに、答えを言うてしまうことが度々あり、周りがしらけてしまっている。

▶ 指導課題の整理

- ・①⑥思ったことをそのまま口にしてしまうことがトラブルの原因になっていることから、その場に適切な発言について学ぶ必要がある。
- ・②③その場にふさわしくない発言や行動が見られるので、日常生活の暗黙のルールを理解したりマナーを身に付けたりする必要がある。
- ・⑤相手の立場を考えず一方的に自分の話をしていることや、④トラブルについて指導を受けた際、自分の非を認めないことから、他者の気持ちを理解する力が乏しいと思われる。他者との関わり方や良好な関係を築くスキルを身に付ける必要がある。

▶ 年間指導目標と具体的な指導内容

- ・集団生活のマナーを身に付け、その場に適切な行動や発言ができるようにする。(心・人・コ)
- ・周りの生徒とのトラブルを減らし、良好な関係を築けるようにする。(人・コ)

○選定された項目

	1 健康の保持	2 心理的な安定	3 人間関係の形成	4 環境の把握	5 身体の動き	6 コミュニケーション
(1)	生活のリズムや生活習慣の形成に関する事	情緒の安定に関する事	他者とのかかわりの基礎に関する事	保有する感覚の活用に関する事	姿勢と運動・動作の基本的技能に関する事	コミュニケーションの基礎的能力に関する事
(2)	病気の状態の理解と生活管理に関する事	状況の理解と変化への対応に関する事	他者の意図や感情の理解に関する事	感覚や認知の特性についての理解と対応に関する事	姿勢保持と運動・動作の補助手段の活用に関する事	言語の受容と表出に関する事
(3)	身体各部の状態の理解と養護に関する事	障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関する事	自己の理解と行動の調整に関する事	感覚の補助及び代行手段の活用に関する事	日常生活に必要な基本動作に関する事	言語の形成と活用に関する事
(4)	障害の特性の理解と生活環境の調整に関する事		集団への参加の基礎に関する事	感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動に関する事	身体の移動能力に関する事	コミュニケーションの手段の選択と活用に関する事
(5)	健康状態の維持・改善に関する事			認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関する事	作業に必要な動作と円滑な遂行に関する事	状況に応じたコミュニケーションに関する事

<p><b>具体的な指導内容 (放課後)</b></p>	<p>・日常の具体的な場面を通して、その場に適切な行動や発言について考える。 → 指導例 5. 1 (P. 59)</p> <p>・自分で具体的な場面の絵を描いたり、教員とのロールプレイをしたりしながら、場に応じた適切な行動について学ぶ。 → 指導例 5. 2 (P. 60)</p>	<p>・グループ指導を行い、他者との会話を通して、話の聞き方や伝え方、友達との上手な付き合い方について学ぶ。 → 指導例 5. 3 (P. 61)</p>
------------------------------	--	---

<p>通常の学級における配慮事項</p>	<p>・周囲の生徒に対する気になる発言があった場合、注意するのではなくその場で望ましい行動を教えるようにする。</p>
----------------------	---

## 5.1 日常生活の暗黙のルールやマナーの理解

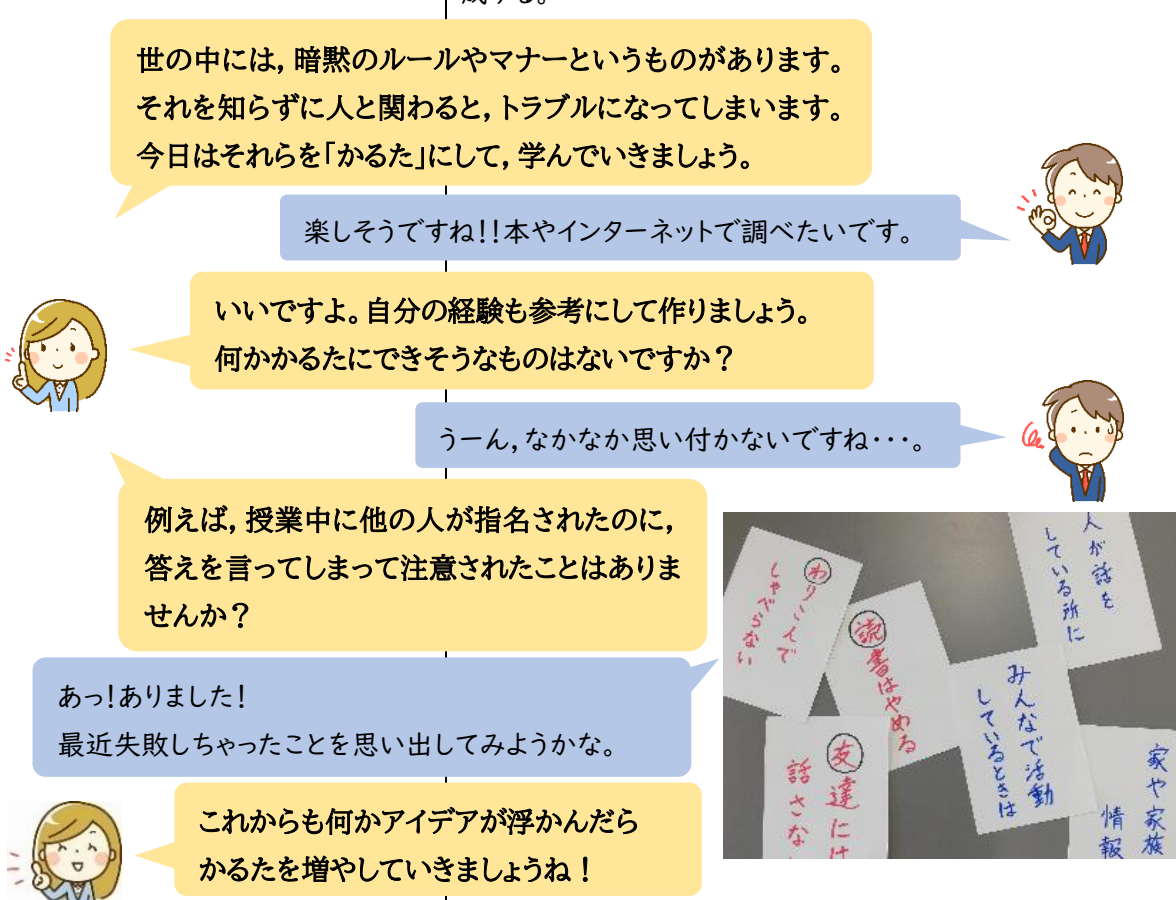
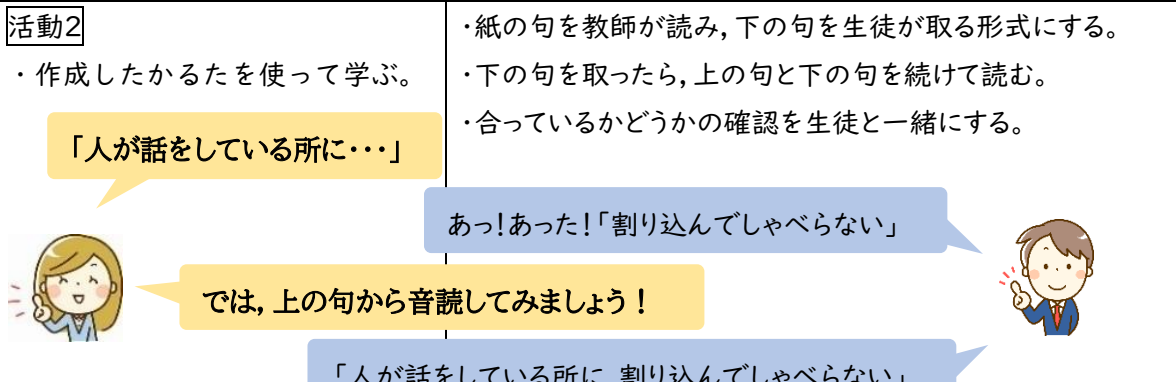
### ▶ 指導に当たって

- ・日常生活の暗黙のルールやマナーをかるたにして学ぶ活動。
- ・活動1, 活動2で, 学校生活での失敗経験を基にし, オリジナルのかるたを生徒自身に作成させ, 楽しみながら必要なスキルを身に付けていく。

### ▶ 本時のねらい

- ・集団生活のルールやマナーを身に付ける。(心・人・コ)

### ▶ 指導過程 (展開)

段階	学習内容	指導上の留意点
展開 30分	<p><b>活動1</b></p> <p>・「隠れたルールかるた」を作り, 楽しみながら暗黙のルールを学ぶ。</p>	<p>・「悲しんでいる人を／笑わない」など上の句, 下の句に分けて作成する。</p> <p>・学級担任からの情報や本人の失敗経験を基に, かるたを作成する。</p>
	<p>世の中には, 暗黙のルールやマナーというものがあります。それを知らずに人と関わると, トラブルになってしまいます。今日はそれらを「かるた」にして, 学んでいきましょう。</p> <p>楽しそうですね!! 本やインターネットで調べたいです。</p> <p>いいですよ。自分の経験も参考にして作りましょう。何かかるたにできそうなものはないですか?</p> <p>うーん, なかなか思い付かないですね…。</p> <p>例えば, 授業中に他の人が指名されたのに, 答えを言ってしまって注意されたことはありませんか?</p> <p>あっ! ありました! 最近失敗しちゃったことを思い出してみようかな。</p> <p>これからも何かアイデアが浮かんだらかるたを増やしていきましょうね!</p> 	
10分	<p><b>活動2</b></p> <p>・作成したかるたを使って学ぶ。</p>	<p>・紙の句を教師が読み, 下の句を生徒が取る形式にする。</p> <p>・下の句を取ったら, 上の句と下の句を続けて読む。</p> <p>・合っているかどうかの確認を生徒と一緒にする。</p>
	<p>「人が話をしている所に…」</p> <p>あっ! あった! 「割り込んでしゃべらない」</p> <p>では, 上の句から音読してみましょう!</p> <p>「人が話をしている所に, 割り込んでしゃべらない」</p> 	

## 5.2 その場に合った行動や発言

### ▶ 指導に当たって

- ・活動1は、簡単な紙芝居を見ながらその場にふさわしい行動や発言について考える時間にする。
- ・活動2では本人の得意な面を生かし、日常の具体的な場面の絵を描き、せりふを考えたり書いたりしながら学ばせる。本人の描いた絵を通級指導教室に掲示したり、写真に撮って縮小印刷したものを携帯させたりし、常に自分の行動について意識させるようにする。また、次時は、適切な行動や発言ができるよう、教員とのロールプレイを行う。

### ▶ 本時のねらい

- ・具体的な場面を想定し、適切な行動や発言ができるようになる。(心・人・コ)

### ▶ 指導過程 (展開)

段階	学習内容	指導上の留意点
展開 15分	<b>活動1</b> ・紙芝居を見ながら、その場にふさわしい行動や発言を考える。	・日常生活での中学生同士のやり取りの様子の紙芝居を見て、登場人物の気持ちやふさわしい発言や行動について考える。教師が寸劇を見せてもよい。
	<p>今日は先生が一人二役になって、友達同士の会話がトラブルに発展してしまったという場面の紙芝居を見せます。トラブルの理由は何なのか考えてみましょう。そして、どんな言葉を選べばよかったのかも一緒に考えてみましょう。</p> <p>私もよくトラブルになることがあります…。</p> <p>大丈夫。一緒に考えてみましょう。では始めます。</p>	
25分	<b>活動2</b> ・場面ごとの絵を描いて、その場にふさわしい言葉を考える。	・様々な場面を設定して、コミュニケーションをとるために必要な知識を学ばせる。
	<p>クウさんは、絵を描くのが得意でしたね。次は先生が話す場面を絵にして、その場にふさわしい言葉を吹き出しに書いてみましょう。</p> <p>絵を描くのは得意です!</p> <p>クウさんはAさんに用があってお話したいんだけど、AさんはBさんと楽しくお話し中です。どんな声を掛ければいいのでしょうか?</p> <p>うーん…。まず簡単に絵を描いてみます。</p> <p>絵を描くと、状況がよく分かりますね。では、Aさんに何と声を掛ければいいのでしょうか。</p> <p>Aさん、今日の部活のことで、聞きたいことがあるんだけど…。</p> <p>急に話し始めるとびっくりするので、「話しているところごめんね。ちょっとだけAさんに話したいことがあるんだけど…」と言ったらどうでしょうか。</p> <p>なるほど…気を付けたいと思います。</p>	

## 5.3 楽しく会話するためのルールを理解

### ▶ 指導に当たって

- ・少人数でのコミュニケーションスキルを高めるためのソーシャルスキルトレーニング例である。
- ・クウさんは、自分で一方的に話をして友達の話を受けない実態から、まずは「活動1」で人と会話するときのポイントを言葉で順番に説明すると同時に、ルールを視覚化して黒板に提示しておくことにする。
- ・「活動2」では、ゲームを通して、友達と会話をする活動の中で実際に人の話を聞くことの大切さを実感させたい。教師も一緒にゲームに参加して助言することで、安心してゲームに取り組めるように配慮する。
- ・「活動3」では、ゲームを振り返って今後に生かそうとする意欲を高めたい。通級指導教室でできるだけではなく、通常の学級や日常生活でも意識して会話ができるようになるための活動である。

### ▶ 本時のねらい

- ・ゲームを通して、楽しく会話するためのルールを知り、実践することができる。(人・コ)

### ▶ 指導過程（展開）

段階	学習内容	指導上の留意点
展開 25分	<p><b>活動1</b></p> <p>・人と会話するときの注意点を学ぶ。</p> <p>① 一人だけでしゃべらず、みんなで話をする。(話している人の顔を見るように話す)</p> <p>② 「聞いているよ」のサインを出す。 (例) うなずき、相槌、(聞いた内容について) 質問するなど・・・</p> <p>③ 話の内容が聞き取れなかったときには、「もう一度、話してください。」と言う。</p>	<p>・3点に気を付けて、「質問ビンゴ」に取り組むこと話す。</p>
	<p><b>活動2</b></p> <p>・「質問ビンゴゲーム」をする。</p> <p>① 自分の色(赤・青・黄・緑)を決める。</p> <p>② 順番に質問のカードを引く。カードを引いた人は順番が次の人へ質問をする。</p> <p>③ 質問をされた人は、質問にその場で答える。</p> <p>④ 答えられたら、1枚のビンゴカードの好きな升目に自分の色を塗る。自分の色が縦・横・ななめ4つ並んだら勝ちになる。</p>	<p>・様々な質問にその場で答えたり、人の話を聞く練習をしたりするゲームであることを伝える。</p> <p>・質問カードを事前に用意し、質問したり答えたりすることがスムーズにできるようにする。</p> <div style="text-align: center;"> </div>
15分	<p><b>活動3</b></p> <p>・ゲームの振り返りをする。</p> <p>3つの注意点に気を付けてゲームはできましたか？</p> <p>今まで、順番に話をするということをあまり意識していなかったのが、話を聞くのも楽しかったです。</p> <p>うなずきながら聞いていてとてもよかったですよ。聞いている人にうなずきながら聞いてもらうとどんな気持ちになりましたか？</p> <p>聞いてもらっているのが分かってもっと話したくなりました。話を聞いていて気持ちよかったです。</p>	<p>・ゲーム後には、注意点3つができたかの評価を行う。勝ち負けの評価にならないように注意する。</p> <p>・評価は自己評価だけでなく、お互いに評価し合う。その際、個人名を出しての批判にならないように、良かった点を評価するように指示する。</p> <p>・うなずいたり相槌をして聞いてもらったりしたときの気持ちを共有できるようにする。</p>